

東濃農林事務所の普及活動状況

令和8年3月

今月の重点活動 13ポイント

■土岐地区農業普及事業推進協議会 農業普及活動発表会を開催

東濃農林事務所は、2月24日に土岐地区農業普及事業推進協議会と共催で「農業普及活動発表会」を開催し、東濃管内の農業者や関係機関等、約65名が参加した。

発表会は、農業普及課が日ごろの普及活動の中から、水田担い手の経営安定に向けて、新酒米品種「酔むすび」によるブランドづくりの活動について報告した。次に瑞浪市の青年農業士から、現在の経営概要や地域貢献等について発表し、規模拡大による経営発展への意欲を示した。また、講師に岐阜県有機農業アドバイザーの福井氏を招き、「有機農業のイロハ（土づくりから販売まで）」と題して講演会も行った。講演では、有機農業の考え方や販売における工夫について紹介された。特に、労働負荷を軽減する栽培技術や付加価値を高める販売手法、LINEを活用したPR戦略などが、参加した農業者の高い関心を集めた。

農業普及課では、引き続き関係機関と連携し、農業者が抱える課題解決に向けた普及活動を通じて、地域農業の発展に寄与していく。



【農業普及活動発表会の様子】

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■農福連携 農福連携東濃地域連携会議の開催

農業普及課は3月16日、令和7年度農福連携東濃地域連携会議を開催した。この会議は、東濃地域の農福連携活動を関係機関が一体となって推進するため、農林事務所が中心となり、令和2年に設立されている。

会議では、県農業経営課とぎふ農福連携推進センターより県の農福連携の現状と令和8年度の取組、農林事務所からは今年度の農福のマッチング事例や各関係機関からの取組が報告された。

その後、意見交換を行い、農業者と事業所のスムーズなマッチング方法の確認、更なるPRによるニーズの掘り起こしなどの意見があった。

農業普及課は引き続き、管内での関係者による情報共有と意見交換の場づくりを進め、農福連携を推進していく。



【会議の様子】